

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

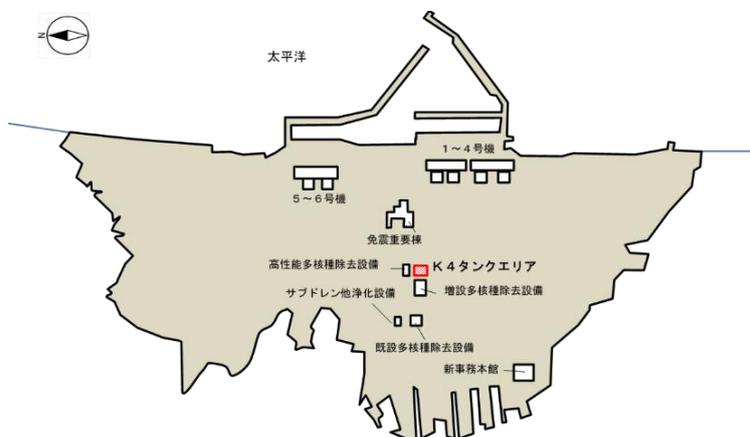
- 1 確認日  
令和4年12月26日（月）
- 2 確認箇所  
K4タンクエリア
- 3 確認項目  
K4タンクエリアの現況

### 4 確認結果の概要

本年8月より多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）希釈放出設備及び関連施設設置工事が行われている。ALPS処理水放出前の測定・確認用設備として、K4タンクエリアのタンクのうち30基（計約30,000m<sup>3</sup>）を転用し、A～C群、各10基（1基約1,000m<sup>3</sup>）のタンク群毎に①受入工程、②測定・確認工程、③放出工程をローテーションしながら運用することとしている。

K4タンクエリアでは、ALPS処理水の測定・確認用設備として使うための工事が行われており、その中でローテーションの際に使用するタンク間の配管の敷設工事が進められている。本日はその配管（ポリエチレン管）の耐圧試験の状況を確認した。（前回確認：[令和4年12月15日](#)）（図1）

- ・ K4タンクエリア西側において、配管の耐圧試験を実施していた。（写真1）
- ・ 敷設した配管にはろ過水が封入され、加圧ポンプにより配管内部の圧力を上昇させた後、一定時間経過後に、ろ過水の漏えいがないことを確認していた。（写真2）
- ・ 耐圧試験の結果、規定の圧力に対し耐久性を有することが確認された。



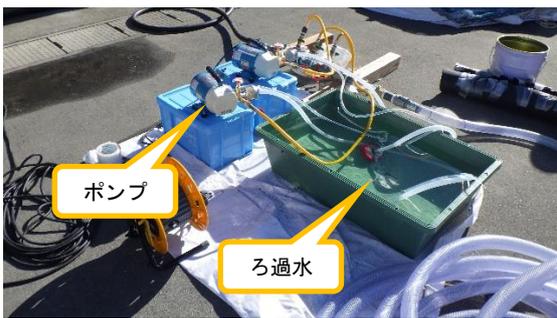
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
耐圧試験の状況①



(写真1-2)  
耐圧試験の状況②



(写真2-1)  
配管内の水張りに使用するポンプ等



(写真2-2)  
使用するポンプ

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。